

こけしの里から沼を巡るみち

土湯温泉バス停—女沼—土湯温泉バス停 全長8.8km

女沼の道
女沼周辺の静かな道と紅葉の
美しさを楽しむ

男沼の湖沼
湖沼の静けさと遠く山並みの
雄姿を楽しむ

女沼の静けさ
静かな道と紅葉の美しさを楽しむ

仁田沼の静けさ
静かな道と紅葉の美しさを楽しむ

男沼の湖沼
湖沼の静けさと遠く山並みの
雄姿を楽しむ

女沼の静けさ
静かな道と紅葉の美しさを楽しむ

スタート・ゴール 土湯温泉バス停

取材日 2019年11月16日
 所要時間 5時間20分(休憩含む)
 ■40代女性 17032歩
 消費カロリー— 522.1kcal
 ■50代男性 15509歩
 消費カロリー— 600.7kcal
 ※市販の歩数計で計測



池田和也さん(62)＝写真・左＝紅葉の中を、落ち葉を踏みしめ、かき分けて歩く心地よさがあり、心も体も癒やしてくれる細道です。この細道沿いには女沼、思いの滝、男沼の湖沼が点在し、それぞれに伝説やいわれがあるなど、その物語を想像しながら散策できるのも楽しみの一つです。

マリナ・トロンジャゼさん(24)＝写真・右＝ロシアの森とちょっと雰囲気の違う散策路でした。落葉樹の紅葉が鮮やかで、日本の自然を感じることができました。

歩いてみて



中村晋さん(52) 今回は初冬の静かな林を歩くコース。いきなり「熊出没注意」の看板に出迎えられ、戦慄(せんりつ)。しかし、木の葉が降る中をゆっくり歩く時間はぜいたくでした。女沼、仁田沼、男沼、それぞれの風情があり、ハイキングコースとしてまた来たいですね。とはいえ、熊の爪痕やイノシシが土を掘り返した跡に、自然との共生の難しさを感じないわけにはいきませんでした。

立ち寄り情報



土湯温泉街の足湯カフェに立ち寄りました。二瓶草さん、みどりさん夫婦＝写真・左＝が週末だけ、埼玉県からUターンして営業しています。元々は二瓶さんのお父さんが開いていたお土産屋さんで、長い間、空き店舗になっていたそうです。故郷に残る同世代の仲間が復興に向け頑張る姿を見て、力になりたいと昨年8月に店をオープン。オーナーの

息子さんのアイデアで、こだわり足湯カフェが実現しました。寒い日も暑い日も室内で快適に足湯が楽しめます＝写真・右＝。コーヒー、スフレパンケーキ、おしるこ、磯辺焼き、カレーのほか、ワインやビールも味わえます。



【足湯Cafe Casval (キャスバル)】▶住所—福島市土湯温泉町杉の下20▶電話—024(563)1429▶営業日・時間—土、日曜日のみ営業。午前11時～午後7時30分

旅メモ



土湯温泉観光協会の森林セラピーマップは男沼、女沼、仁田沼周辺の遊歩道がくまなく掲載されていて便利です。坂道の勾配や距離、時間、消費カロリーも細かく記されています。カタクリ、ミズバショウの群生地などの見どころも載っています。女沼のところに大きな看板＝写真＝があります。A4サイズのマップを土湯温泉観光協会にて配布しています。